

午 後

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午後の試験問題数は 64 問で、解答時間は 1 時間 55 分です。

医学一般

問題 57 消化管に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 胃と食道の境界に幽門が存在する。
- B 小腸の上部5分の2が回腸である。
- C 結腸の始まりが上行結腸である。
- D 直腸の下端が肛門である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 58 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 動脈硬化性疾患のリスクファクターが存在している状態である。
- B 治療ではまず薬物療法が用いられる。
- C 「平成17年国民健康・栄養調査」によると、20歳以上の男性において、メタボリックシンドロームが強く疑われる者の割合は、20%を超えている。
- D 糖尿病を有する者は、メタボリックシンドロームの診断から除外される。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 59 骨関節疾患に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 女性では、閉経により骨量の減少速度は緩やかになる。
- 2 痛風の原因は、靭帯の骨化である。
- 3 関節リウマチは、女性より男性に多い。
- 4 高齢者の大腿骨頸部骨折での手術は、臥床期間短縮のために行われる。
- 5 変形性膝関節症では、杖の使用はなるべく避ける。

問題 60 難病に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 脊髄小脳変性症の主な症状として、運動失調が見られる。
- B パーキンソン病における精神症状として、躁症状が見られる。
- C 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の主な症状として、嚥下障害や筋力低下が見られる。
- D 全身性エリテマトーデス（SLE）の重症な症状の一つに、腎障害がある。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 61 高血圧における食習慣の修正に関する次の文章の空欄A，B，Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

「A」の摂りすぎは高血圧の一因となるので、その制限を行うこと。また、「B」を多く含んだ「C」の積極的摂取と脂肪摂取の制限をすること。これらにより降圧が期待できる。

- | | A | B | C |
|---|--------|--------|----|
| 1 | ナトリウム | カリウム | 野菜 |
| 2 | マグネシウム | ナトリウム | 野菜 |
| 3 | カリウム | ナトリウム | 魚肉 |
| 4 | ナトリウム | マグネシウム | 米飯 |
| 5 | カリウム | マグネシウム | 魚肉 |

問題 62 感染症に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 麻疹は、飛沫感染によって生じる。
- 2 疥癬は、ヒゼンダニの感染によって生じる。
- 3 インフルエンザの迅速診断には、鼻咽頭粘液を用いる。
- 4 ノロウイルス感染予防のため、予防接種が行われる。
- 5 MRSAは、健康な若年者にも感染する。

問題 63 寝たきり状態にある人の褥瘡に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 同一部位の長時間の圧迫による血行障害が原因である。
- B 側臥位では、仙骨部、踵部に発生しやすい。
- C 皮下組織が壊死に陥ると、黒色痂皮を形成する。
- D 予防には、6時間おきに体位変換を行う。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 64 循環器系の解剖と生理に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 下大静脈の血液は左心室に入る。
- 2 肺動脈には動脈血が流れている。
- 3 左心房には肺からの血液が流入する。
- 4 心臓は一日約100万回収縮する。
- 5 肺動脈の血圧は大動脈よりも高い。

問題 65 誤嚥性肺炎に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A むせこみが無くても発症する場合がある。
- B 抗生物質は無効である。
- C 鎮静剤の服用も原因となり得る。
- D 口腔ケアは、発症予防に効果がある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 66 高齢者の加齢変化に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 下肢筋力は保たれる。
- 2 肺活量は低下する。
- 3 運動神経の末梢神経伝達速度は亢進する。
- 4 腎血流量は増加する。
- 5 聴覚では、高音域に比べ低音域が障害される。

問題 67 脳血管障害に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 脳出血は、高血圧性病変をきたした脳内の動脈が破裂して起こることが多い。
- B くも膜下出血は、偏頭痛が引き金となって発症する。
- C 心房内の血栓は、脳塞栓の原因となり得る。
- D 一過性脳虚血発作を繰り返す人は、脳梗塞を発症しやすい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 68 糖尿病に合併しやすい病態として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 眼底出血
- 2 タンパク尿
- 3 足指壊疽
- 4 狭心症
- 5 気管支喘息

精神保健

問題 69 せん妄の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 幻覚があるときは、それを真っ向から否定するようなことはしない。
- B せん妄状態にあるときには、部屋を真っ暗にする。
- C 穏やかで静かな調子で声をかける。
- D せん妄を予防するために昼寝を勧める。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 70 統合失調症に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 高齢期に発症することが多い。
- B 症状消失後は、抗精神病薬の継続服用の必要はない。
- C 患者と家族が、病気について十分な説明を受ける必要がある。
- D 家族の感情表出の仕方や接し方が病状に影響する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 71 次のうち、認知症の人に見られる症状として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 記憶障害
- 2 離人症
- 3 作話
- 4 見当識障害
- 5 被害妄想

問題 72 精神障害者の入院医療制度等に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 任意入院は、患者本人の同意に基づく入院形態である。
- B 入院患者の処遇において、病状によって信書の発受が制限される。
- C 医療保護入院を行うときには、退院請求等の権利について患者に書面で知らせなければならない。
- D 現在入院中の精神障害者で、受入条件が整えば退院可能な者は約7万6千人といわれている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

介護概論

問題 73 削除

問題 74 高齢者の身体的特徴と介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 味覚の低下に対しては、味付けの好みを注意深く観察する。
- B 突発的な難聴に対しては、加齢によるものなので心配ないと判断する。
- C 視力の低下に対しては、足下灯などの配慮をする。
- D 唾液の分泌の低下に対しては、口腔ケアを心がける。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 75 介護過程の展開に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 情報収集に際しては、利用者の全体像をとらえるための観察が重要である。
- B 実践に際しては、他職種との連携が必要である。
- C 介護計画は、利用者と家族に説明し同意を得る。
- D 評価とは、実施した介護を具体的に記録することである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 76 介護従事者の労働条件、健康、安全、福利厚生などを規定する法律に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 賃金、労働時間、休憩その他の労働条件に関する基準については、労働基準法に規定されている。
- 2 安全及び衛生については、労働安全衛生法に規定されている。
- 3 労働災害の補償については、労働者災害補償保険法に規定されている。
- 4 労働環境、教育訓練等の雇用管理の改善措置については、社会福祉士及び介護福祉士法に規定されている。
- 5 福利厚生の増進を目的とする福利厚生センターについては、社会福祉法に規定されている。

問題 77 緊急時の対応に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 救急車を依頼する際には、住所や目印になる場所を知らせ、事故や病気の様子を簡潔に伝える。
- 2 反応がなく、正常な呼吸がなければ、心肺蘇生法（CPR）を開始する。
- 3 心肺蘇生法における胸骨部圧迫は、毎分50～60回行う。
- 4 誤嚥の際、意識がある場合は、片手で上半身を支え、もう一方の手で肩甲骨の間を叩く。
- 5 意識がなく、嘔吐のある場合は、側臥位にし、吐物による窒息を防ぐ。

問題 78 介護従事者の利用者とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 沈黙を避けて、次々と話しかける。
- 2 言葉が聞き取れないときであっても、失礼になるので繰り返し聞くことをしない。
- 3 介護従事者の感情は常に押し殺す。
- 4 利用者に同情する。
- 5 利用者をありのままに受け入れる。

問題 79 介護従事者が留意すべき利用者の個人情報と守秘義務に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A サービス担当者会議で利用者の個人情報を用いる場合は、あらかじめ利用者の同意を得ておく。
- B 事例研究を行う場合は、あらかじめ当該利用者の同意を得ることを原則とし、個人が特定されないよう配慮する。
- C 介護福祉士でなくなった後は、守秘義務は課せられない。
- D 生命又は身体に重大な危険が生じている高齢者虐待を発見した場合は、守秘義務に優先して通報する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 80 次の介護保険法に基づくサービスのうち、法令上機能訓練を行うとはされていないものを一つ選びなさい。

- 1 短期入所生活介護
- 2 通所介護
- 3 介護老人保健施設入所者へのサービス
- 4 介護老人福祉施設入所者へのサービス
- 5 居宅介護支援

介護技術

問題 81 高齢者住居の手すりに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 車いすを利用している場合、トイレ内の横手すりはアームレストの高さに設置する。
- B 階段の手すりは、階段の手前30cm以上の余裕をみて取り付ける。
- C 手すりの太さは、軽く握って親指と中指の先が触れる程度がよい。
- D 手すりの先端部は、湾曲していないものがよい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 82 右片麻痺のある利用者を仰臥位から端座位にする介助の方法に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 介助者は、臥床している利用者の右側に両足を付けて立つ。
- B 介助者は、利用者の右手を利用者の胸部又は腹部に乗せる。
- C 介助者は、利用者の頸部と大腿部を抱え、殿部を支点に回転させて起こす。
- D 介助者は、利用者の両足底が床面から10cm程度離れているような端座位にする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 83 食事前の誤嚥予防の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 覚醒していることを確認する。
- B 口唇、舌、頬の運動を行う。
- C 頸部を後屈した姿勢に保つ。
- D とろみをつけたり、ソフト食を用いる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 84 食事介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 刻み食が必要な場合でも、刻む前の食べ物の状態を見てもらう。
- B 食事の前後には、義歯の有無を確認する。
- C 片麻痺のある人には、口の麻痺側にスプーンを入れる。
- D 一口ごとに、口の中に食べ物が残っていないか確認する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 85 排泄のための用具に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 男性用尿器を使用する際は、側臥位よりも仰臥位の方が排尿しやすい。
- B 差し込み便器は、適温に暖めてから使用する。
- C 股関節や膝の曲がりにくい利用者は、便座を高くすることで動作が楽になることがある。
- D ポータブルトイレは、蹴こみ（足を後ろに引くことができるスペース）のあるものが立ち上がりやすい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

問題 86 排泄に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 朝食後のトイレ誘導は、よい排泄習慣につながる。
- B 便秘予防の献立には、消化のよい食材を用いる。
- C 下痢の場合は、水分の摂取を控える。
- D おむつ交換は、利用者の羞恥心に配慮し、手早く介助する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 87 不眠の訴えへの介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 身体面、環境面などのアセスメントを行う。
- B 就寝前の足浴を計画する。
- C 就寝直前は、空腹にするように勧める。
- D 利用者独自の入眠への習慣を尊重する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 88 次の衣類のうち、片麻痺で座位姿勢を保つことができる人が自分で着用するものとして、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 膝掛け
- B かぶり式の上衣
- C 前開きマジックテープ式上衣
- D ウェストひもしぼり型のズボン

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 89 入浴に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ぬるめの湯（37～39℃）に長く入ると、血圧が高くなる。
- B 湯に入ると、浮力のため身体が軽くなり、体位が不安定になる。
- C 湯に肩まで入ると、水圧のため心臓への負荷が増す。
- D 食後すぐの入浴は、消化によくない。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 90 緊急・事故時の介護従事者の対応に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 衣服の上から熱湯を浴びたので、急いで脱がして冷やしながら病院に行った。
- B 創傷の傷口を洗い、消毒薬をつけてから病院に行った。
- C 手をついて転んだ後、手首が腫れてきたので、副え木を当てて固定しながら病院に行った。
- D 誤嚥による気道内異物を除去するため、ハイムリック法を行った。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 91 爪及びそのケアに関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 爪には指先の保護、指の力を増強させるなどの働きがある。
- 2 爪切前には足浴をし、爪周囲の角質を取り除いておく。
- 3 巻き爪の予防には、爪の両端を斜めに切る（バイアス切り）。
- 4 糖尿病などの疾患がある人の爪切りは、爪そのものに異常がなくても、医療関係者に相談する。
- 5 爪白癬の予防には、足指を石けんを使ってよく洗い、水分を拭き取り、よく乾燥させる。

(介護技術・事例問題 1)

施設介護に関する次の事例を読んで、問題 9 2 から問題 9 4 までについて答えなさい。

〔事 例〕

G さん（96 歳，女性，要介護 4）は，指定介護老人福祉施設（以下「施設」という）に入所している。身内は長女（74 歳）のみである。入所時，脳梗塞による左片麻痺が見られた。車いすでの移動は可能であった。本人は，「これ以上娘の負担になりたくない。最後までここでお世話になりたい」という言葉を口にしていて。長女からは施設での看取りの希望が出された。居室は二人部屋で，同室者とは同郷ということで親しくしていた。

2 か月前にインフルエンザのため高熱を出して以来，個室に移った。ベッドから離床することが困難となり，入浴・食事・排泄ともに全介助の状態となった。次第に体力が低下し，主治医からは「高齢であり，心不全もありますので，今後体調の急変に気をつけてください」との注意があった。G さんは，ここ数日間，下肢にむくみが見られ，痰が増え，食欲も低下してきている。おむつの交換時，殿部に発赤を発見した。

問題 92 G さんの介護計画に関する次の記述のうち，適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 座位で息苦しさを訴えた場合には，体位をすぐに仰臥位とする。
- B 飲水量を定期的に観察・記録する。
- C 食欲低下があるので，塩分の多い食事にする。
- D 定期的に体位変換をする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 93 介護職員の今後の対応に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 元の同室者の訪問を希望するかどうかをGさんに尋ねる。
- B 元の居室への移動を介護職員独自の判断で行う。
- C 看護師とのカンファレンスを適宜行い、連携を強化する。
- D 長女の心理的負担を考慮し、Gさんの現状を伝えない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 94 施設での看取りに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Gさんと長女に、施設での看取りについての考え方や方針を説明する。
- B 意向確認書をGさんと長女に説明し、内容確認をした後に署名してもらう。
- C Gさんと長女の意向を取り入れたケアプランを作成する。
- D 終末期にあるので、施設としては精神的ケアを行わないことを長女に告げる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

(介護技術・事例問題 2)

訪問介護に関する以下の事例を読んで、問題 95 から問題 97 までについて答えなさい。

〔事例〕

Hさん（85歳，女性）は，若いころは読書好きであった。60歳ごろから高血圧があり，近所の診療所に通院していた。半年前，風邪をこじらせ1か月ほど入院したが，退院後はほとんど寝たきりの生活となり，一日中寝巻きのままで過ごしている。また，尿と便の失禁があり，おむつを使用している。自宅内の移動介助では，車いすを使っている。最近，認知症の症状が出現し，家族との意思の疎通が困難になってきている。

長女夫婦と3人暮らしであり，長女の夫は定年退職後もパート勤務を続けている。長女は，近頃，体調が悪く，午前中は部屋から出ることはほとんどない。長女の夫がHさんの今後のことを考えて介護保険を申請し，要介護3と認定された。

Hさんが現在利用しているサービスは，週5回の訪問介護（服薬介助，おむつ交換，その他日常生活支援など），週1回の訪問看護と訪問入浴である。

問題 95 Hさんの介護に関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 好みの普段着が選べるように言葉かけをして，着替えの介助をする。
- B 洗面所まで移動介助し，歯磨きや洗面を介助する。
- C 食事はベッドに運び，寝たままの状態で食事介助する。
- D 降圧剤の服用後，口腔内に薬が残っていないかを確認する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問題 96 Hさんの排泄の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Hさんの排泄習慣を把握するために、排便・排尿の状況を2日間観察して記録する。
- B おむつをはずす可能性をさぐるため、朝食後にポータブルトイレで排泄を試みる。
- C おむつ交換時に行う陰部清拭は、肛門部に向かって拭き、拭き戻しはしない。
- D 長女の体調も考慮し、訪問介護の夜間利用の必要性を検討する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 97 家庭内で生活の活性化を図るために、家族に助言する内容に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Hさんが好きだった本の中から1冊を選び音読し、反応を確かめる。
- B 好みの献立を話題にし、一緒に食材リストを作成する。
- C 長女夫婦と一緒に写っている写真を用いて、話題をみつける。
- D 手の届くところに電話機を置き、昼間の留守番役をHさんに求める。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

(介護技術・事例問題 3)

認知症のある入所者の介護に関する次の事例を読んで、問題 98 から問題 100 までについて答えなさい。

[事 例]

Yさん(78歳, 女性, 要介護3)は半年ほど前に指定介護老人福祉施設に入所した。歩行は自立している。認知症があり, 自分の名前や生年月日が正しく答えられず, 年齢は40歳という。食事は, はじめはスプーンを持って摂取するが途中から手でつかんで食べる。摂取量にはむらがあり, 飲水量も少ない。自歯は無い。尿失禁があるのでリハビリパンツを使用し, 職員がトイレに誘導している。頻尿はない。リハビリパンツには褐色の濃縮尿が見られる。排泄介助時に衣服を押さえ, 脱ぐことに抵抗が見られる。トイレや居室が分からなくなることがある。

ただ一人の家族である長女が一日おきに来て散歩に連れて行くが, Yさんは長女に対して「顔を見たことがあるようだけど, どなたかしら」ということもある。散歩中にダイニングで行われているレクリエーションを二人で見ていることもある。

問題 98 Yさんの食事介助に関する次の記述のうち, 適切なものに○, 適切でないものに×をつけた場合, その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 1回の食事摂取量だけでなく, 一日のトータルバランスに配慮する。
- B 食事摂取量にむらがあることの原因を探る。
- C 口腔ケアは希望があれば行う。
- D 一日の水分摂取量を把握する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 99 Yさんの排泄介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 安心できる言葉かけと態度で誘導し、トイレでの排泄を継続する。
- B 膀胱炎などの尿路感染をひき起こす可能性があるので、注意深く観察する。
- C 尿失禁について、医療職と連携して排泄行動を再アセスメントする。
- D 排泄時に抵抗するのは、「尿は出ない」と訴えていると判断する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 100 長女への支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Yさんの入所前の生活の様子と介護状況を詳しく聞く。
- B 長女を認識できなくなっていることに対し、「あきらめましょう」と諭す。
- C 施設サービスに対する感想や要望などについて聞く機会を設ける。
- D Yさんと一緒に、レクリエーションに参加するよう勧める。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

形態別介護技術

問題 101 家族介護者への支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 家族が長期間介護を続けている場合は、虐待は起こらないと判断する。
- B 家族介護者に対しては、専門的知識・技術をもって、介護に関する指導を行う。
- C 福祉用具については、入手や利用の方法に関する情報を分かりやすく提供する。
- D 利用者に関する記録は、事実を分かりやすく的確に伝えられるように記述する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題 102 高齢者の寝たきり予防等に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 臥床状態から上半身を起こす場合には、速やかにギャッジベッドの上部を高くする。
- B 昼間は、寝衣から普段着に着替えて生活リズムをつけるよう工夫する。
- C 寝たきり状態が続くと関節の拘縮につながるため、積極的に手足を動かす。
- D 「ベッド」「ポータブルトイレ」「いす（車いすを含む）」を利用者の状況に合わせて使用し、寝たきりにならないようにする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題 103 肢体不自由者の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 関節リウマチがある場合、手のこわばりが強くなるのは夕方であることに留意する。
- B 片麻痺によって歩行が不安定になる場合、麻痺側に立って歩行介助を行う。
- C 頸髄損傷で四肢麻痺がある場合、うつ熱になりやすいので、室温を調整する。
- D 筋萎縮性側索硬化症が進行した場合、体動困難が生じるので、褥瘡の予防のために体位変換を行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 104 身体機能の補完と福祉用具に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A ベッド柵は、ベッド上での起き上がりを容易にするためにも活用される。
- B 固定型四脚歩行器は、左右のフレームを交互に持ち上げて使用するものである。
- C ハイ・ロー3モーターベッドには、高さ調節・背上げ・膝上げの機能がある。
- D ロフストランド・クラッチは、握力や上腕の力が強い人に適している。

(組み合わせ)

1	A	B
2	A	C
3	B	C
4	B	D
5	C	D

問題 105 呼吸機能障害のある人に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 呼吸筋のストレッチ体操など、無理のない範囲内で体を動かしてもらおう。
- B いすから立ち上がる時には、息を止めるように指導する。
- C 痰の色が変化した場合、医師や看護師などの医療関係者に連絡する。
- D 酸素療法中の入浴では、カニューレは洗髪の邪魔になるので、はずしてから浴室に入ってもらおう。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 106 消化管ストマのある人に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護従事者は、フランジ（台紙）を交換することができる。
- B 小腸ストマのある人が入浴直前に排便があった場合の入浴介助は、パウチを装着せずに行う。
- C S状結腸ストマのある人の便は有形であるため、定時排便が得られやすい。
- D 適度な運動は、食欲を増し、排便にもよい効果をもたらす。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 107 視覚障害のある人の介護と福祉用具に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 手引き歩行時の介護者は、視覚障害のある人の半歩前を歩く。
- B 求心性視野狭窄のある人の移動では、階段の段差が認識しにくいことに留意する。
- C 低視力の人読書には、拡大読書器の活用が有効である。
- D 白杖とT字杖を同時に使用する場合、T字杖は、二歩先の足元を検索・確認するためのものである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 108 言語障害のある人のコミュニケーション援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 運動性失語障害のある人には、「はい」「いいえ」で答えられる質問をする。
- B 運動性失語障害のある人には、手話を使うようにする。
- C 麻痺性構音障害のある人には、五十音表の使用も可能であることに留意する。
- D 麻痺性構音障害のある人には、ゆっくりと文節を区切って話すように促す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 109 聴覚障害のある人のコミュニケーション援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 筆談は、言語獲得後の失聴の場合に、有効なコミュニケーションの手段である。
- B 読話では、同口型異義語に注意する。
- C 空書では、相手との距離を通常1～1.5mくらいにし、楷書でゆっくり、はっきり書く。
- D 手話を獲得した人は指文字も獲得しているので、積極的に使う。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 110 認知症の人に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 認知症はかなり進行しても、感情は保たれる。
- B 徘徊の場合には、その行動の背景を理解するように努める。
- C 失敗行動があったときは、厳しく注意する。
- D 見当識障害が見られる場合、現実認識を深めることを目的とする方法として、現実見当識訓練 (reality orientation ; RO) がある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 111 精神障害のある人の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 抗精神病薬の服用は、唾液の分泌を増加させることに留意する。
- B 心身の疲労が再発の誘因となる場合、休みを取るなどして仕事に従事する時間を短くするよう勧める。
- C 家事などは、本人ができる状態であれば一緒に行い、次第に一人でできるように支援する。
- D 薬物療法や精神療法とともに生活療法を行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

(形態別介護技術・事例問題 1)

在宅の認知症高齢者に関する次の事例を読んで、問題 1 1 2 から問題 1 1 4 までについて答えなさい。

〔事例〕

Jさん（83歳，要介護2）は，妻（78歳）と二人暮らしである。Jさんは退職後，写真撮影を趣味としていた。以前から血圧が高く，3年前より物忘れが多くなった。半年くらい前から一日中何もしないで過ごすようになっている。食事や更衣などの動作はゆっくりであるが，促せば何とか自分でできる。最近，入浴を嫌がるようになる一方，時には浴槽から出ようとしなくなることもある。尿意・便意を訴えることができない。失禁があり，終日おむつを使用している。

妻は，介護の手助けをしてくれる人が近くにいないため，疲れ果ててしまっている。現在，週2回の訪問介護を利用している。

問題 112 Jさんのアセスメントに関する次の記述のうち，適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心身の廃用性機能低下が進む可能性がある。
- B 食事の動作がゆっくりなのは，食欲がないためである。
- C 動作を促さないと自分で行わないのは，妻が世話をしすぎているためである。
- D 趣味の写真撮影を再開することで，生活の活性化につながる可能性がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 113 Jさんの入浴介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 入浴を嫌がる場合は、叱責してでも入浴を促す。
- B 浴槽から出ようとしなない場合は、長湯になっても浴槽を出るまで待つ。
- C 洗い残しのある場合は、洗身介助をする。
- D 入浴後の着衣は、介護者が全介助で行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 114 次のサービスのうち、Jさんが在宅生活継続のために当面利用するものとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 認知症対応型通所介護
- 2 認知症対応型共同生活介護
- 3 通所リハビリテーション
- 4 夜間対応型訪問介護
- 5 特定施設入居者生活介護

(形態別介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事例〕

Kさん（78歳，要介護2）は，糖尿病で20年前からインスリン療法を行っている。約6か月前に右下肢が壊死し，大腿部切断により義足装着となった。妻と自宅で生活していたが，世話をしていた妻が心筋梗塞で入院したため，介護老人保健施設（以下「施設」という）に1か月前に入所した。食事，更衣，整容は自立しているが，起立，移乗，排泄，入浴は要介助，義足歩行は5m程度ならば四脚杖と介助にて可能だが，主に車いすを利用している。インスリン注射は朝・昼・夕食前に自分でやっている。入所後食事量が減っており夕食前になると，時々あくび，いらいらや発汗が見られるが，夕食後にはおさまる。また，視力低下や易疲労感に加え，切断した右足のしびれ感を介護従事者に頻回に訴える。施設の行事やグループ活動には参加せず，部屋に閉じこもって，入院している妻のことを話して涙ぐむことが多くなった。

問題 115 Kさんの身体状況のアセスメントに関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 左足部や断端部に傷ができる可能性がある。
- B 夕食前のあくび，いらいらや発汗は，閉じこもりによるストレスから生じている。
- C 右足のしびれ感は，幻肢によるものである。
- D 視力低下は，糖尿病による合併症の可能性が考えられる。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 116 Kさんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 毎食の食事摂取量に十分注意する。
- B 歩行するときには、右手に四脚杖を持ってもらう。
- C 臥床するときには、義足をはずしてもらう。
- D 端座位から車いすへ移乗するときには、車いすはKさんの左側に置く。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 117 閉じこもりがちのKさんへの支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 食事時以外はベッド上で静養するように勧める。
- B 義足歩行の訓練の回数を増やす。
- C 散歩や外出を促して気分転換を図る。
- D 妻との面会ができるように準備する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

(形態別介護技術・事例問題 3)

精神障害のある高齢者の介護に関する次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

[事例]

Nさん(78歳、要介護3)は、10年前よりうつ病で精神科病院に入退院を繰り返していた。1年ほど前に退院してからは、自宅で妻と二人暮らしであったが、大腿骨頸部骨折による歩行困難のため、半年前から介護老人保健施設に入所している。精神科へも通院し抗精神病薬が処方されているが、自ら薬を飲もうとしない。最近では食事もベッドで摂ることが多くなってきた。食欲不振があり、また便秘がちである。夜間は寝つきが悪く、睡眠不足が続いている。しばしばナースコールを押し、「妻が面会に来てくれない」、「歩けなくなってしまった」、「生きていても仕方がない」などと訴える。妻は月1回、面会に訪れている。

問題 118 Nさんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 精神症状には日内変動があり、それを考慮したかわりが大切である。
- B 朝から頑張って積極的に行動するよう励ます。
- C 調理法を工夫して、食事量や水分摂取量を増やすようにする。
- D 「生きていても仕方がない」と言わなくなったときには、自殺の危険が遠のいたと考えてよい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 119 Nさんの夜間の訴えへの対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「歩けるようになるまで頑張りましょう」と励ます。
- B Nさんの話をよく聞いて、不安等の軽減を図る。
- C 夜間不眠の状況を看護師に報告し、服薬等について相談する。
- D 日中の睡眠の必要性も検討する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 120 Nさんの介護における連携等に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 抗精神病薬を中断しないように、看護師と連携して飲んだことを確認する。
- B 食欲不振や便秘の対応について、精神科医を含め医療関係者の助言を得る。
- C 別離の不安をこれ以上強くしないため、妻に面会を控えるよう助言する。
- D ケース検討会を開き、散歩を勧めることの是非について相談する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |